

授業改善書

科目名	フランス語Ⅱ（中級）
担当者	市橋 明典

授業の概要

「フランス語Ⅰ（初級）」につづき、フランス語とその文化について学ぶ。基礎文法をマスターして「読む・書く・聴く」の能力を養い、仏語を話せるようにする。引き続き、初心者にも分かり易くまたパリ観光を題材にしたビデオ教材を使い、毎回簡単な会話を練習しながら基本的な文法の説明を行なう。さらに、実践的なコミュニケーション能力を養うべく、フランス映画の映像やシャンソン、単語集を使った語彙の補完につとめる。

授業の問題点

「フランス語Ⅱ（中級）」で学ぶ基礎文法の後半部分は疑問代名詞・疑問副詞・中性代名詞 y・部分冠詞・数量の表現・中性代名詞 en・疑問形容詞・命令形・非人称構文・指示代名詞・補語人称代名詞・代名動詞などの比較的難解な項目が多く、前期の「フランス語Ⅰ（初級）」よりも学習に困難が伴う。受講者は週一回・15回分の限られた授業時間を通して全ての学習項目を理解しなくてはならず、予習・復習・課題を多数こなす必要があり、前期の授業よりも高い集中力と多くの努力を必要とした。

学生の授業満足度

「授業アンケート集計結果」における「学生による主な意見」にはコメントが寄せられていないため受講者の意見は確認できないが、「授業に対する学習態度」・「授業内容」・「授業の方法」の評価と「授業に対する満足度」の数字は何れも（5点中）5点台であり、高い満足度を示している。

授業改善の課題と方策

データが示すように授業に対する学生の満足度は高く、今学期の学習指導の方法からは一定の成果が得られたと判断できる。しかしながら、限られた時間内で多くの文法項目を学習することが要求されていたことから受講者全員が全ての項目を完全に理解するためにはさらなる学習時間が必要であったことが、提出されたレポート・小テストや授業時間内での課題から確認できる。

これを改善するには、今後とも受講者それぞれの理解の度合いを詳細且つ確実に把握し、学生が短期間の内に各学習項目を正しく理解できるように授業を工夫して行く必要がある。解説の仕方を改良し、学生にとってより一層分かり易いプレゼンテーションが行えるようにつとめる。また、課題に対する学習者の理解が深まるべく、課題レポートと授業内での指導やアドバイスをさらに丁寧に行うように心懸ける。

その他

--